承認経営革新計画の変更について

承認された経営革新計画を変更する場合、変更申請又は変更報告のいずれかが必要となります。計画内容に変更がある場合は**「変更申請」**、代表者の変更・所在地の移転等の申請者情報が変更される場合は**「変更報告」**となります。

　※経営革新計画の趣旨を変えないような軽微の変更（設備全体の能力に影響を及ぼさないような機種の変更、単価の増減等による資金総額の若干の変更等）の場合は、変更申請する必要はありません。

　※記載にあたっては、**「記載例」**を参照してください。

**【提出書類：変更申請の場合】**

**（１）変更申請書（１部）**

①様式第１０（Ｐ．３）

　　②別紙（Ｐ．４）

③別表１～４，６，７ [変更前・変更後] （Ｐ．５～１１）

　　※③別表１～４，６，７については、変更が生じた部分の変更前、変更後を提出してください。また、変更箇所が分かるように、変更箇所を**赤字・下線**として作成してください。

**（２）添付書類（各１部）**

**（有限会社・株式会社・組合等法人の場合）**

①履歴事項全部証明書（写し）又は定款（写し）のいずれか。

　　**（ただし、当初承認時に提出したものから変更がない場合は、必要ありません）**

　　※原本証明が必要。（裏面の余白スペースで結構です）

　　　　　例

原本に相違ないことを証明します。

令和○○年○○月○○日　株式会社○○○○　　代表取締役　○○○○　　㊞

　　②計画実施期間中の決算報告書

　　　※貸借対照表、損益計算書、販売費及び一般管理費計算書、製造原価報告書（完成工事原価報告書）、　　　　　　利益処分計算書（株主資本変動計算書）が必要。

　　※原本証明が必要。（裏面の余白スペースで結構です）

　　③経営革新計画の具体的内容を記載した「別紙資料」[変更前・変更後]（Ｐ．１２～１５）

　　**（個人事業者の場合）**

　　①計画実施期間中の確定申告書（税務署の受付印を押したもの）及び決算書（青色申告：損益計算書・貸借対照表）の写し

　　**（ただし、当初承認時に提出したものから変更がない場合は、必要有りません）**

　　※原本証明が必要。（裏面の余白スペースで結構です）

　　※損益計算書と貸借対照表を作成していない場合は、以下に記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

　　②経営革新計画の具体的内容を記載した「別紙資料」[変更前・変更後]（Ｐ．１２～１５）

**【提出書類：変更報告の場合】**

**（１）変更報告書（１部）**

①様式第１０－２（Ｐ．１６）

　　②別紙（Ｐ．１７）

**（２）添付書類（各１部）**

**（有限会社・株式会社・組合等法人の場合）**

①履歴事項全部証明書（写し）又は定款（写し）のいずれか。

　　**（ただし、当初承認時に提出したものと変更がない場合は、必要有りません）**

　※原本証明が必要。（裏面の余白スペースで結構です）

　　**（個人事業者の場合）**

　　①開業•廃業等届出書の写し等、計画の実施者の変更や所在地の移転を証する書類

 ※詳細は別途ご案内しますので、以下に記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

**（お問い合わせ窓口）**

**

【申請窓口、申請書類の作成方法に関すること】

公益財団法人三重県産業支援センター 経営支援課 経営支援班

　〒514-0004　津市栄町１丁目８９１番地　三重県合同ビル５Ｆ

　電話 059-253-4355　 ＦＡＸ059-228-3800

【制度全般に関すること】

三重県雇用経済部中小企業・サービス産業振興課

　〒514-8570　津市広明町１３番地　三重県庁８Ｆ

　電話059-224-2534　　ＦＡＸ059-224-2078

**１ 記載例（変更申請）**

様式第１０

承認経営革新計画の変更に係る承認申請書

　　　令和○年○月○日

　三重県知事　様

個人の場合は実印

法人の場合は代表者印（丸印）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　　三重県○○○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名 称 及 び　　株式会社○○○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者の氏名　　代表取締役　○○○○　　　印

法人の場合は役職名も記載してください。

　平成○年○月○日付け承認第○○号で承認を受けた経営革新計画について別紙のとおり変更したいので、中小企業等経営強化法第１５条第１項の規定に基づき承認を申請します。

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

別　紙

１　変更事項

1. 既承認の計画で計画していた項目に加え、軽量化・安全性の追求が必要となり、予定していた◆◆装置（変更前の機器）に加えて、◇◇装置を（変更後の機器）導入する。
2. 業務目標に関する当初計画と実績に変化が生じたため、目標数値及びスケジュールを変更する。

承認済みの計画から今回変更（追加計画含む）する事項を記入してください。

（下記の記載例を参考に記入してください。）

　例：

　「・・・・・」をテーマに承認を得ましたが、今回、当社が持つ・・・・の新規開発を、既承認の計画に追加する。

２　変更事項の内容

（別表１）

* 「経営革新の内容及び既存事業との相違点」に、軽量化・安全性の追求が必要となる旨の文言を追加。
* 「経営の向上の程度を示す指標」を変更。

　　・付加価値額の目標伸び率　変更前34.3％→　変更後54.5％

　　・一人あたり付加価値額の目標伸び率 変更前25.6％→変更後44.5％

　 ・経常利益の目標伸び率　変更前20.2％→変更後302.5％

（別表２）

* 実績を記入。
* 実施時期の一部変更。

（別表３）

○　実績を記入（１年後（平成31年3月期））。

* 資金計画、設備投資額の変更。

（別表４）

　　　○　設備投資計画の変更。

　　　　　・◇◇装置（◎◎機、ソフトウェア）を追加で購入

　　　　　・◆◆装置（ソフトウェア）の金額の変更

「１　変更事項」で記載した変更事項により、別表１～７が具体的にどう変更するかについて記入してください。

（下記の記載例を参考に記入してください。）

例：

別表1． 付加価値額及び経常利益の目標及び計画期間の変更

・付加価値額：○○％→○○％

・経常利益：○○％→○○％

・計画期間：令和○年○月～令和◇年◇月（3年間）→令和▽年▽月（5年間）

別表２． 実施時期の変更及び実績の追加

別表３． 資金調達額の調達金額の変更

別表４． 設備導入時期の変更：○年後→◇年後

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

別表１～７の変更後の申請書の「変更後」の記載例です。

変更箇所を、**赤字・下線で加筆・修正してください。**

（別表１）

**経営革新計画**

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者名・資本金・業種 | 実　施　体　制 |
| 申請者名：　㈱○○○○資 本 金：　△△△千円業　　　種：　自動車・同附属部品製造業(311） | 　代表の私を中心に実施体制の整備、開発リーダーである○○を中心に新商品開発、マネージャーである△△を中心に販路拡大を行う。 |
| 新事業活動の類型 | 経 営 革 新 の 目 標 |
| 計画の対象となる類型全てに丸印を付ける。1. 新商品の開発又は生産
2. 新役務の開発又は提供
3. 商品の新たな生産又は販売の方式の導入
4. 役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動
 | 経営革新計画のテーマ：**○○技術を使用した▲▲の開発**当社は、親会社の㈱■■を主な顧客として、○○の業務を行ってきた。しかしながら、○○の業務は××といった背景により、この３年間で売上高が約１割減少している。このような中、当社は○○の業務を中心とした事業構成から脱却すべく、新商品▲▲の開発に着手することとし、昨年から研究開発を進めてきた。新商品は、当社の有する超硬度材料を精密加工する技術を応用した製品であり、従来品と比較して耐久性と安全性の面で優れており、かつ、製造工程が簡略化されることによりコストが非常に安く済むことが特徴である。経営革新計画では、新商品の開発により売上・収益の向上を図ると同時に、◇◇産業の変革にも対応できる技術力を持つことを目標に据える。 |
| **経営革新の内容及び既存事業との相違点**◆　経営革新に取り組む理由や経緯当社は、昭和△△年に設立した○○会社であり、主に㈱■■の一次下請事業者として、○○の業務を行ってきた。○○の業務は、㈱■■のの◎◎（目的・用途）に必要不可欠であり、耐久性や安全性が求められる。当社は長年培ってきた高い技術力により、超硬度材料を精密加工が可能であり、▽▽（㈱■■社製品）中の△△（当社製品）をほぼ独占的に受注している。しかしながら、○○の業務は××といった背景により、この３年間で売上高が約１割減少しており、また、今後も減少が続くことが予想されており、当社として、○○の業務に依存した事業構成について危機感を抱いている。このような中、新たな事業の柱を模索していたところ、当社の技術力を高く評価していただいている㈱■■から次世代の▼▼(㈱■■社新製品)に搭載する▲▲（当社新製品）の製造について当社にオファーがあった。◆　経営革新計画の内容　今回の経営革新計画では、新商品▲▲の開発により売上・収益の向上を図ると同時に、◇◇産業の変革にも対応できる技術力を持つことを目標に据える。　具体的には、・・・・・・・・・・・　なお、～～については～～の適用拡大が進んでいることから、当初想定よりも軽量化・安全性が追求されるために、それに対応した構造設計とする。[既存事業との相違点]変更箇所が分かるよう、**赤字・下線**で明確にすること。・既存事業の特徴・課題　１．・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２．・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・新規事業の特徴１．・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２．・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| 経営の向上の程度を示す指標 | 現　　　状 | 計画終了時の目標伸び率（計画期間） |
| １ | 付加価値額 | ６２３，８２４千円 | ９６４，０００千円（５４．５％）（３０年４月～３年３月　（３年計画）） |
| ２ | 一人当たりの付加価値額 | ５，４２５千円 | ７，８３７千円（４４．５％） |
| ３ | 経常利益 | ６９，０７０千円 | ２７８，０００千円（３０２．５％） |

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

年表記については、必要に応じて「令和」の年に修正してください。

（別表２）

**実施計画と実績（実績欄は申請段階では記載する必要はない。）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 計　　　　画 | 実　　　　績 |
| 実　施　項　目 | 評価基準 | 評価頻度 | 実施時期 | 実施状況 | 効果 | 対策 |
| 1 | 実施体制の整備 |  |  |  |  |  |  |
| 1-1 | プロジェクトチーム設置 | メンバー構成 | 毎年 | 1-1 | ◎ | ◎ |  |
| 1-2 | 人員の増強 |  |  | 1-4 | ○ | △ | 5名採用引き続き求人を行う |
| 2 | 新商品▲▲の開発 |  |  |  |  |  |  |
| 2-1 | ◆◆装置の仕様検討 | 設備の生産性 | 計画時 | 1-1 | ◎ | ◎ |  |
| 2-2 | 工場拡張計画の作成 | 計画の進捗 | 毎月 | 1-1 | ◎ | ◎ |  |
| 2-3 | 工場拡張完了 |  |  | 1-4 | 未 |  | 実施途中 |
| 2-4 | ◆◆装置の導入 | 導入コスト | 導入時 | 1-4 | ◎ | ◎ |  |
| 2-5 | ◆◆装置の試験稼働 | 設備稼働率 | 毎週 | 1-4 | ○ | △ | 全社員の理解を深めていく。 |
| 2-6 | 新商品▲▲の試作 | 耐久性等（自社による評価） | 毎月 | 2-1 | ○ | △ |  |
| 2-7 | 新商品▲▲のサンプル評価 | ㈱■■による評価 | サンプル提供時 | 2-1 | △ | △ | ◇◇装置の導入により、軽量化・安全性向上を目指す |
| 2-8 | ◇◇装置の導入 | 導入コスト | 導入時 | 2-3 |  |  |  |
| 2-9 | ◇◇装置の試験稼働 | 設備稼働率 | 毎週 | 2-4 |  |  |  |
| 2-10 | 新商品▲▲の量産化準備 | 歩留り | 毎月 | 3-1 |  |  |  |
| 2-11 | 新商品▲▲の量産開始 | 製造原価 | 毎月 | 3-2 |  |  |  |
| 3 | 販路拡大 |  |  |  |  |  |  |
| 3-1 | 営業計画の作成 | 計画の進捗 | 毎年 | 1-1 | ○ | ○ |  |
| 3-2 | ㈱■■以外の販路の開拓 | 成約率 | 毎月 | 3-2 |  |  |  |

変更計画申請の際には、完了している事項について評価を行なうこと。

実施状況：◎計画どおり実行できた。○ほぼ計画どおり実行できた。△実行したが不十分だった。×ほとんど実行できなかった。

効果：　　　◎効果が十分上がった。○ほぼ予定の効果が得られた。△少し効果があった。

×ほとんど効果がなかった。

対策：　　　実施状況に応じて、追加対策を実施することとした場合は、追加した実施項目を別表２に記載すること。

年度表記については、必要に応じて「令和」の年度に修正してください。

実績が確定した年度については、実績値を記入してください。

**経営計画及び資金計画**（別表３）

　　参加中小企業者名　㈱○○○○　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位　千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ２年前 | １年前 | 直近期末 | １年後 | ２年後 | ３年後 | 4年後 | ５年後 |
|  | （28年3月） | （29年3月） | （30年3月） | （31年3月） | （2年3月） | （3年3月） | （ 年 月）実績が未確定の年度については、現状を考慮し、計画値を修正してください。 | （ 年　　月） |
| ①売上高 | 2,444,210 | 2,570,008 | 2,412,047 | ~~2,400,000~~2,525,321 | ~~2,400,000~~2,560,000 | ~~3,000,000~~3,230,000 |  |  |
| ②売上原価 | 1,903,218 | 1,924,208 | 1,837,606 | ~~1,815,000~~1,892,543 | ~~1,850,000~~1,950,000 | ~~2,203,000~~2,185,000 |  |  |
| ③売上総利益 | 540,992 | 645,800 | 574,441 | ~~585,000~~632,778 | ~~550,000~~610,000 | ~~797,000~~1,045,000 |  |  |
| ④販売費及び一般管理費 | 515,141 | 518,730 | 504,371 | ~~530,000~~535,881 | ~~557,000~~580,000 | ~~712,000~~752,000 |  |  |
| ⑤営業利益 | 25,851 | 127,070 | 70,070 | ~~65,000~~96,897 | ~~－7,000~~30,000 | ~~85,000~~293,000 |  |  |
| ⑥営業外費用 | 1,500 | 1,200 | 1,000 | ~~2,500~~3,995 | 3,000 | ~~2,000~~15,000 |  |  |
| ⑦経常利益（⑤－⑥） | 24,351 | 125,870 | 69,070 | ~~62,500~~92,902 | ~~－10,000~~27,000 | ~~83,000~~278,000 |  |  |
| ⑧人件費 | 550,600 | 533,506 | 504,870 | ~~530,000~~555,228 | 600,000 | ~~700,000~~615,000 |  |  |
| ⑨設備投資額 | 38,743 | 26,202 | 3,452 | ~~160,000~~171,992 | ~~25,000~~60,000 | 40,000 |  | 　　　　　 |
| ⑩運転資金 | 48,800 | 51,400 | 48,200 | ~~50,000~~42,335 | 20,000 | 10,000 |  | 　　　　　 |
|  | 普通償却額 | 50,349 | 46,613 | 38,636 | ~~34,000~~35,732 | ~~33,000~~36,000 | ~~32,000~~35,000 |  |  |
|  | 特別償却額 | 0 | 0 | 0 | ~~40,000~~37,666 | ~~6,000~~15,000 | 10,000 |  |  |
| ﾘｰｽ･ﾚﾝﾀﾙ料 | 10,555 | 11,884 | 10,248 | ~~11,000~~11,145 | 11,000 | 11,000 |  |  |
| ⑪減価償却費 | 60,904 | 58,497 | 48,884 | ~~85,000~~84,543 | ~~50,000~~62,000 | ~~53,000~~56,000 |  |  |
| ⑫付加価値額（⑤＋⑧＋⑪） | 637,355 | 719,073 | 623,824 | ~~680,000~~736,668 | ~~643,000~~692,000 | ~~838,000~~964,000 |  |  |
| ⑬従業員数 | 123 | 115 | 115 | ~~118~~120 | 123 | 123 |  |  |
| ⑭一人当たりの付加価値額 | 5,182 | 6,253 | 5,425 | ~~5,763~~6,139 | ~~5,228~~5,626 | ~~6,813~~7,837 |  |  |
| ⑮資金調達額 | 政府系金融機関借入 | ― | 　　― | 　　― | 200,000 | ~~30,000~~53,000 | 0 |  |  |
| 民間金融機関借入 | ― | 　　― | 　　― | 0 | 0 | 30,000 |  |  |
| 自己資金 | ― | 　　― | 　　― | ~~10,000~~14,327 | ~~15,000~~27,000 | 20,000 |  |  |
| その他 | ― | 　　― | 　　― | 0 | 0 | 0 |  |  |
| （⑨＋⑩）　合　計 | ― | 　　― | 　　― | ~~214,000~~214,327　　　　　 | ~~45,000~~80,000 | 50,000 |  | 　　　　　　 |

（各種指標の算出式）

「経常利益」：営業利益－営業外費用（支払利息等）。通常の会計原則とは異なり、営業外収益は含みません。

「⑨設備投資額」と「⑩運転資金」の合計額が「⑮資金調達額」と一致します。

「付加価値額」：営業利益＋人件費＋減価償却費

「一人当たりの付加価値額」：付加価値額÷従業員数

「営業利益」：売上総利益（売上高－売上原価）－販売費及び一般管理費

 （付加価値額等の算出方式）

人数、人件費に短時間労働者、派遣労働者に対する費用を参入しましたか。　　　　　（はい・いいえ）

減価償却費にリース・レンタル料を参入しましたか。　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　（はい・いいえ）

従業員数について就業時間による調整を行いましたか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（はい・いいえ）

（別表４）

　参加中小企業者名　株式会社○○○○

**設備投資計画**（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 機械装置名称　　（導入年度） | 単　　　価 | 数　量 | 合　計　金　額 |
| １ | 工場拡張費用　　　　　　（３０年度） | 120,000 | １ | 120,000 |
| ２ | ◆◆装置（××機）　型番：ＸＸＸＸＸＸＸ　　　　　　　　　　　　　　（３１年度） | 15,000 | １ | 15,000 |
| ３ | ◆◆装置（○○機）　型番：ＸＸＸＸＸＸＸ　　　　　　　　　　　　　　（３１年度）  | 　5,000 | １ | 　5,000 |
| ４ | ◆◆装置（ソフトウェア）　型番：ＸＸＸＸＸＸＸ　　　　　　　　　　　（３１年度） | ~~5,000~~8,000 | １ | ~~5,000~~8,000 |
| ５追加 | ◇◇装置（◎◎機）　型番：ＸＸＸＸＸＸＸ　　　　　　　　　　　　　　（３１年度） | 10,000 | ２ | 20,000 |
| ６追加 | ◇◇装置（ソフトウェア）　型番：ＸＸＸＸＸＸＸ　　　　　　　　　　　（３１年度） | 5,000 | １ | 5,000 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 合　　計 |  |  | ~~145,000~~173,000 |

**運転資金計画（経営革新計画に係るもの）**　（単位：千円）

|  |  |
| --- | --- |
| 年　度 | 金　　　　　　　額 |
| ３０年度 | 30,000 |
| ３１年度 | 20,000 |
| ２年度 | 10,000 |
|  |  |
| 合計 | 60,000 |

年度表記については、必要に応じて「令和」の年度に修正してください。

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

 （別表６）

**①関係機関への連絡希望について**

 計画が承認された場合に、下記関係機関に承認書の写しを送付することを希望する場合には、当

該箇所の「有」を選択し、（　）に支店名を記入して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 承認書類の送付を希望する機関名 | 送付の希望の有・無 |
| 三重県信用保証協会 | 有　・　無 |
| 株式会社日本政策金融公庫 |  |
|  | ( 津 ）支店　中小企業事業　　＊旧中小企業金融公庫 | 有　・　無 |
| ( ）支店　国民生活事業　　＊旧国民生活金融公庫 | 有　・　無 |
| 名古屋中小企業投資育成株式会社 | 有　・　無 |
| (その他連絡を希望する支援機関名を記載) |  |
| ○○銀行○○支店 | 有　・　無 |
|  | 有　・　無 |
|  | 有　・　無 |

* なお、この様式は、それぞれの支援施策を保証するものではありません。

**②計画書作成にあたりアドバイスを受けた機関について**

本計画書を作成するにあたり、アドバイスを受けた機関等があれば下記にご記入下さい。

（例：○○商工会、○○商工会議所、日本政策金融公庫○○支店、○○銀行○○支店、○○信用金庫○○支店、中小企業診断士、税理士、公認会計士等）

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　アドバイスを受けた機関等 | 担当者名 |
| ○○商工会 | ○○　○○ |

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別表７）

中小企業経営革新事例集等の作成に関するお願い

　「経営革新計画」が承認された場合、記載内容を事例集等により公表してよろしいでしょうか。以下の公表項目について、公表の可否のどちらかを選択して下さい。

なお公表が可の場合、三重県のホームページに、「企業名」、「所在地」、「電話番号」、｢会社ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞURL｣、「経営革新計画のテーマ」、「承認番号」を掲載します。

|  |  |
| --- | --- |
| 公　表　項　目 | 公表の可否 |
| ①企業名：㈱○○○○ | 可　・　否 |
| ②代表者名：代表取締役　○○○○ | 可　・　否 |
| ③創業年月日：（　昭和○○年○月○日） | 可　・　否 |
|  ④資本金：△△△千円 | 可　・　否 |
| ⑤従業員数：115人 | 可　・　否 |
| ⑥所在地：〒○○○－○○○○　三重県○○○○ | 可　・　否 |
| ⑦電話番号（代表）：（○○○○―○○―○○○○） | 可　・　否 |
| ⑧ＦＡＸ番号（代表）：（○○○○―○○―○○○○） | 可　・　否 |
| ⑨会社ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：（URL：http://www. ○○○○○○）（開設している場合に記載） | 可　・　否 |
| ⑩経営革新計画のテーマ：○○技術を使用した▲▲の開発 | 可　・　否 |
| ⑪経営革新計画の概要：－ | 可　・　否 |

 **◎申請書作成担当者について**

|  |  |
| --- | --- |
| 所属部課 | 　○○○○部　総務課 |
| 職　　　名 | 　○○ |
| 担当者名 | 　○○　○○ |
| 電話番号（担当） | 　○○○　（　○○○　）　○○○○ |
| FAX番号（担当） | 　○○○　（　○○○　）　○○○○ |
| e-mail（担当） | 　○○○○＠○○○○○○○ |

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙資料）

経営革新計画のテーマ：○○技術を使用した▲▲の開発

**（事業者名：○○○○株式会社）**

**１　取り組みの背景と経緯**（別表１の「経営革新の目標」欄で、新たな取り組みに至った背景や経緯を要約して記載していただきましたが、もう少し具体的に記載してください。）

当社は、昭和△△年に設立した○○会社であり、主に㈱■■の一次下請事業者として、○○の業務を行ってきた。○○の業務は、㈱■■のの◎◎（目的・用途）に必要不可欠であり、耐久性や安全性が求められる。当社は長年培ってきた高い技術力により、超硬度材料の精密加工が可能であり、▽▽（㈱■■社製品）中の△△（当社製品）をほぼ独占的に受注している。

しかしながら、○○の業務は××といった背景により、この３年間で売上高が約１割減少しており、また、今後も減少が続くことが予想されており、当社として、○○の業務に依存した事業構成について危機感を抱いている。このような中、新たな事業の柱を模索していたところ、当社の技術力を高く評価していただいている㈱■■から次世代の▼▼(㈱■■社新製品)に搭載する▲▲（当社新製品）の製造について当社にオファーがあった。

㈱■■からのオファーを受け、新商品▲▲の開発に着手することとしたが、新商品▲▲を製造するうえで～～という技術的な課題がある。（詳細は、次項「２　具体的な取り組み」を参照。）課題解決に向けて、昨年から研究開発を進めており、次世代の▼▼がリリースされる平成＿＿年度に向けて、新商品▲▲の量産の準備を行っているところである。

**２　具体的な取り組み**

**①取り組みの具体的な内容**（計画の具体的な内容を文章にて記載してください。）

１．実施体制の整備

　～～～～～～～～～～～～～

２．新商品▲▲の開発

　[技術的な課題]

　・～～～～～～～～～～～～

　・～～～～～～～～～～～～

　・～～～～～～～～～～～～

　・～～については～～の適用拡大が進んでいることから、当初想定よりも軽量化・安全性が追求されるために、それに対応した構造設計とする。

　[上記課題の解決方法]

　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～

　　◇◇装置を導入することにより、～～～～という加工を行い、新商品▲▲を○○[㎏/台]の軽量化を図り、～～の安全性試験に耐えうる仕様を目指す。

３．販路拡大

　　～～～～～～～～～～～～～

　（詳細は、「④販売戦略」を参照。）

**②新規性**（同業他社や既存商品等との異なる優位性について、品質・機能面、価格・コスト面、生産リードタイムなどの観点から記載してください。）

　新商品▲▲は、～～～～～～に特徴があり、当社既存製品△△と比較して異なる用途に用いられるため、新規の事業である。また、超硬度材料を精密加工する技術は難易度が高く、当社の技術力を高く評価していただいて㈱■■から指名を受けたと自負している。他社との単純な比較はできないが、当社が新商品▲▲で目指す性能と価格は、市場優位性があり、差別化が図られるものと考える。

　表１　当社製品（既存製品、新製品）と他社製品の比較

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 当社既存製品△△ | 当社新製品▲▲ | Ａ社類似製品 |
| 用途 | ○○の用途に用いる | ××の用途に用いる | ××の用途に用いる |
| 特徴（強み） | ・量産方法を確立している・当社の売上の柱 | ・次世代の▼▼(㈱■■社新製品)に搭載予定・利益率が高い・～～の用途にも展開が期待される | ・現行世代の◇◇に搭載されている |
| 特徴（弱み） | ・利益率が低い・○○の業務が減少で、今後も生産量が減少する見込み | ・技術的な難易度が高い・～～（人材の能力）をもった人材がいない | ・次世代の▼▼に必要な性能を満たしていない・価格が高い |
| 価格 | …円／kg | …円／kg | …円／kg |
| その他 | ・～～年後に売上比率を～％とする | ・○○年リリース予定 |  |

**③市場性**（ターゲットとなる市場、計画する商品やサービス、生産・販売方式の現状や将来性などについて、具体的に記載してください。）

　当社の商品別売上高は表２のとおりであり、分析の結果、製品△△、Ｃは売上が減少傾向であり、製品Ａ、Ｂについては横ばいである。当社として、○○の業務（製品△△）に依存した事業構成との売上減少について危機感を抱いている。

　表２　当社製品（既存製品）売上高と売上比率

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 売上高（千円） | 売上比率（％） | 売上傾向 |
| 製品△△ | 1,750,000 | 70％ | 減少傾向 |
| 製品Ａ | 250,000 | 10％ | 横ばい |
| 製品Ｂ | 125,000 | 5％ | 横ばい |
| 製品Ｃ | 125,000 | 5％ | 減少傾向 |
| その他 | 250,000 | 10％ | － |

　一方、㈱■■社が量産化を目指す次世代の▼▼の＿＿のマーケットは、図１のとおり平成○○年においては、○○億円の市場に成長する見込みである。㈱■■社の現在の市場シェアが約○○％であるため、▲▲（当社新製品）については○○千円の売上高が期待される。

図１　＿＿のマーケットの市場規模

図１

**④販売戦略**（販売ルートについて、既存ルートの活用はあるか、新規ルートの開拓など、どのような計画かを具体的に記載してください。特に、新規開拓の場合は、その方法も記載してください。）

　前述のとおり、まずは次世代の▼▼(㈱■■社新製品)への搭載を目指し、平成＿＿年度に向けて新商品▲▲の量産体制の確立を目指す。

一方で、新商品▲▲については、～～の用途にも展開が期待されるため、○○年より、～～（㈱■■社以外のメーカー）業界の企業に対して営業を開始し、徐々に顧客を増やしていく計画である。

**⑤社会性**（本計画の事業実施により、技術、サービス、雇用等の面からどのような波及効果があるか記載してください。）

　次世代の▼▼は～～～～という面で環境面でも有用であるため、その構成部品の一つである新商品▲▲が量産化されることは、地球環境の保全に寄与すると言える。また、地域の雇用の観点から～～～～～～～～～～～～～～～～～。

**⑥関連する法律等**（関連する法律がある場合は記載してください。なお、計画実施に当たり許認可が伴う場合は、その取得状況あるいは取得スケジュールについて記載してください。）

なし

**３　その他**

年表記については、必要に応じて「令和」の年に修正してください。

　　【売上高計画】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | １年後（31年3月） | ２年後（2年3月） | ３年後（3年3月） |
| 従来事業分売上高 | ~~2,400,000~~2,525,321 | ~~2,300,000~~2,450,000 | ~~2,200,000~~2,350,000 |
| 新規事業分売上高 | 0 | ~~100,000~~110,000 | ~~800,000~~880,000 |
| 総売上高 | ~~2,400,000~~2,525,321 | ~~2,400,000~~2,560,000 | ~~3,000,000~~3,230,000 |

　新規事業分売上高積算　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | １年後（31年3月） | ２年後（2年3月） | ３年後（3年3月） |
| ▲▲の単価（千円／台） | ~~500~~550 |
| ▲▲販売数（台） | 0 | 200 | 1,600 |
| ▲▲売上（千円） | 0 | ~~100,000~~110,000 | ~~800,000~~880,000 |

備考

※▼▼（㈱■■社製品）１台につき▲▲（当社新製品）を２台搭載。

※▼▼（㈱■■社製品）の生産台数は、㈱■■社製品との納入計画のとおり。

※▲▲（当社新製品）の仕様変更（軽量化・安全性の強化）に伴い、単価を変更

　　【借入金返済計画】　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | １年後（31年3月） | ２年後（2年3月） | ３年後（3年3月） |
| 直近期末借入残高 | 320,000 | 430,000 | ~~370,000~~393,000 |
| 期中新規借入額 | 200,000 | ~~30,000~~53,000 | 30,000 |
| 期中返済額 |  90,000 | 90,000 | ~~90,000~~94,000 |
| 返済原資 | ~~105,250~~119,849 | ~~※29,000~~※64,500 | ~~※83,500~~184,000 |

　（例）※2年後の返済原資が不足するが、役員の個人資産を投入することにより返済可能である。

　　【従業員数】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | ２年前（28年3月） | １年前（29年3月） | 直近期末（30年3月） |
| 従業員数（別表３の数値と同一） | 123 | 115 | 115 |
| 内　訳 | 常勤役員 | 3 | 3 | 3 |
| 従業員（役員は含まない） | 100 | 95 | 95 |
| パートタイマー | 20 | 17 | 17 |
| 派遣社員 |  |  |  |

　※その他、参考となる資料（写真、図面、試作品等）がある場合は添付してください。

**２ 記載例（変更報告）**

様式第１０－２

承認経営革新計画に係る変更報告書

　令和○年○月○日

　三重県知事　様

個人の場合は実印

法人の場合は代表者印（丸印）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　　三重県○○○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　名 称 及 び　　株式会社○○○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者の氏名　　代表取締役　○○○○　　　印

法人の場合は役職名も記載してください。

　平成○年○月○日付け承認第○○号で承認を受けた経営革新計画について、別紙のとおり変更したいので報告します。

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

別　紙

１　変更事項

①令和○○年○月○日付けで代表者の変更をいたしました。

②令和△△年△月△日付けで所在地の移転を行いました。

承認済みの計画から今回変更（追加計画含む）する事項を記入してください。

（下記の記載例を参考に記入してください。）

例：

令和○○年○月○日付けで代表者の変更をいたしました。

２　変更事項の内容

　①【変更前】代表取締役　○○ ○○

　　【変更後】代表取締役　△△ △△

　②【変更前】三重県○○市○○町○○

　　【変更後】三重県△△市△△町△△

「１　変更事項」で記載した変更事項により、具体的にどのように変更された内容を記載してください。

（下記の記載例を参考に記入してください。）

　例：

　【変更前】

　　代表取締役　○○ ○○

　【変更後】

　　代表取締役　△△ △△

（備考）　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。